



建築鉄骨分野の溶接施工試験と不具合解析

材料ならびに溶接に関する専門知識をベースに溶接施工試験から破壊解析まで対応可能です。

背景

- 1998年にAW(Architectural Welding)検定協議会実施の建築鉄骨溶接技量試験の試験機関に、民間では唯一当社のみが参入を果たしました。2007年には、それまでの実績が評価され、当社福山事業所がAW西日本地区の試験機関に認定されております。
- その後、多くの設計事務所、ゼネコン、ファブリケータに認知して頂き、スカイツリーを初めとする大型プロジェクトや中小の個別案件の材料試験、溶接施工試験、溶接技量試験をお引き受けしてきました。
- こうした試験の中で生じる種々の不具合に対しても、鋼材、溶接さらには強度(破壊)に関する専門知識と経験を通して、問題解決を図っております。
- さらに、地震や老朽化等によって引き起こされた破壊に関連し、走査型電子顕微鏡による破面解析等を行って、それらの発生原因の究明を図っております。

溶接施工試験

溶接施工試験実施の必要性

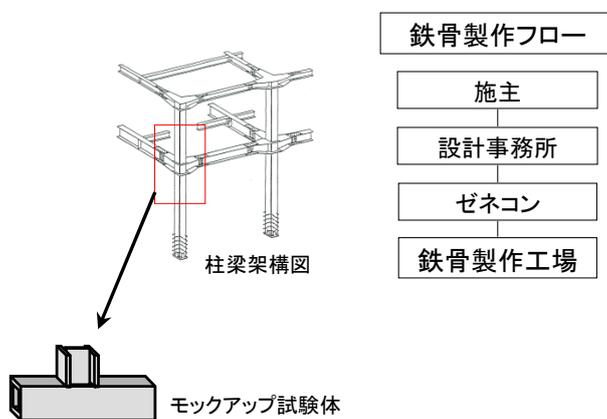
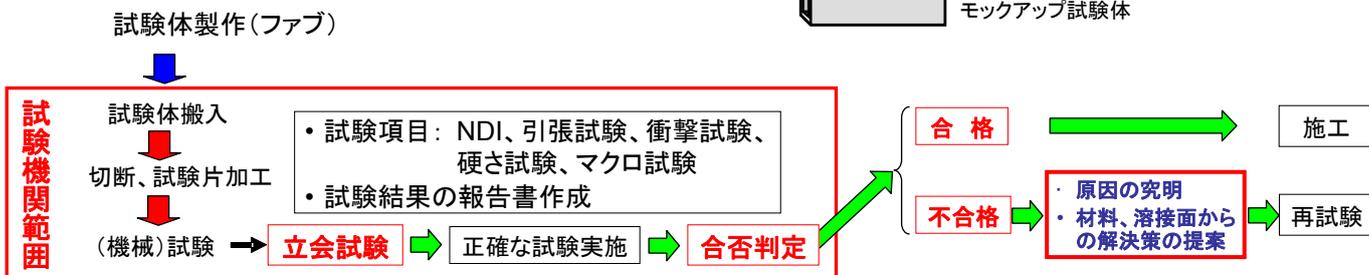
- ・新材料、新施工法採用
- ・過去製造実績のない場合
- ・工事で指定された場合 等

鉄骨製作工場(ファブ)ごとに試験実施

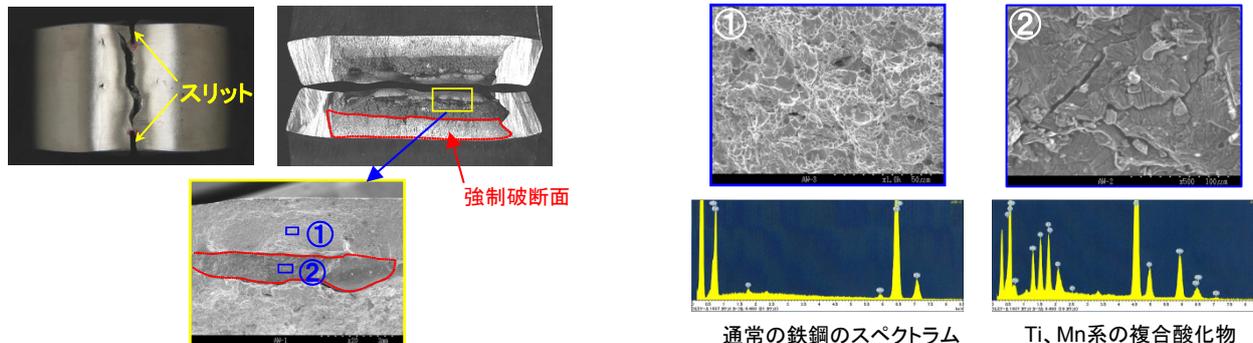
試験例

- ① 極厚・高強度鋼ボックス柱溶接部性能確認試験
- ② 新施工法・新溶接材料による溶接部性能確認試験
- ③ 新鋼材溶接継手性能確認試験

溶接施工試験のフロー



損傷解析例(曲げ試験における割れの発生原因調査)



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2012 - 2013 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。